エヴァモア倶楽部・JA エヴァモア倶楽部

EVER MORE

ヌマザワグループ　地域とのコミュニケーション広報誌

創業120周年記念号　sixth 6

地域に生かされて１２０年

創業120周年記念号

ヌマザワは今年 2015 年で創業 120 周年を迎えました。
振り返りますと先人が歩んで来た道のりは、山あり、谷ありで決して平坦な道ばかりではありませんでした。
これからも、地域の皆様に寄り添いまた、ご支援を賜り、誠実にしっかり歩み続けてまいります。

NUMAZAWA Art Collection
Presents
2015.AUG

information
お知らせ

ヌマザワ創業 120 周年記念コンサート

天空のシルクロード
Concert

二胡奏者
姜暁艶（ジャン ショウイエン）

2015 10/11 日曜日

- ●新庄市民プラザ 大ホール
- ●午後 1 時開場
- ●午後 1 時 30 分開演
- ◆第一部 / 新庄ふるさとソングコンサート
  - ・あじさい・つばさ
  - ・愛すればこの街 新庄
  - ほか
- ◆第二部 / 二胡コンサート

ご招待チケット受付中

※コンサート鑑賞をご希望の方は、電話にてコンサート招待チケットをご予約ください。(ヌマザワ本社にてお渡しいたします。)
※お一人様 2 名までのご招待チケットの受付となります。
※尚、300 席満席になり次第受付は終了とさせていただきます。
※同日、ご来場の方には、記録 DVD もしくは、CD プレゼント！

会員様限定

入場無料

やさしさ、人…心

エヴァモア ヌマザワ

http://www.numazawa.co.jp

フリーダイヤル 0120-52-0855

お問い合わせ 0233-22-2137

ヌマザワグループ

- ●株式会社ヌマザワ 本社
  〒996-0026 山形県新庄市大町3-41
  TEL.0233-22-2137　FAX.0233-23-7566
- ●エヴァホール新庄・紫陽花・すみれ
- ●エヴァ アネックス
- ●お仏壇ギャラリーヌマザワ
- ●やすらぎファミリエ茶屋町
- ●株式会社医療救急サービス
- ●ヘルスケアショップ シープ
- ●いきいき倶楽部 シープ
- ●エヴァモア倶楽部・JAエヴァモア倶楽部 事務局
- ●民間生活支援センター・終活サロン

ヌマザワグループ広報誌 EVER MORE 第 6 号　2015 年 8 月　編集発行／株式会社 ヌマザワ内 EVER MORE 事務局　〒996-0026 新庄市大町 3-41 tel0233(22)2137

初代より、地域に生かされて

おかげさまで株式会社ヌマザワは、平成二十七年で創業百二十周年を迎えることができました。明治二十八年六月、初代、沼沢松治ときえが青果物問屋「沼沢商店」を創業。以来、さまざまな変遷をしてきました。

いまのヌマザワがあるのは、先代の苦労があってのこと。そして、いつも地域のみなさまに支えていただいたからこそです。ヌマザワのルーツを三代目妻、沼沢美沙子が語り伝えます。

初代 沼沢松治

初代妻 きえ

地域のみなさまのあたたかい励ましと、先代たちの苦労のもとに120年という大還暦を迎えることができました。これからも、よろしくお願いいたします。

私が二十三歳で沼沢に嫁いできた時は、青果物問屋でした。嫁いできて六十年になります。

初代は、沼沢松治ときえ。二代目が松治とまさ。松治は代々襲名するので、夫も松治でした。元々は廣治だったので、みんなには「ひろちゃん」って呼ばれていました。私とお父さんで三代目です。私が嫁に来た時は、縫い子さん、女中さん、番頭さん、集金の人の四名が働いていました。お姑さんからは「人を使うには人に使われないと出来ない」と言われました。店はつぶれる寸前で、経済的にも大変だったのだと思います。みんなに辞めてもらい、私とお父さんの二人だけで八百屋を切り盛りしました。お姑さんが厳格な人で、昔の嫁なんて本当に女中さんそのものでした。ある日、お父さんの妹の結婚式があったので「明日、何を着ていけばいいんですか」って聞いたら、お姑さんからは「なして着物着らんなねのや。台所で割烹着あてたばんでいい」って言われました。そういう時代でした。二十九歳で夫を亡くし、五人の子供を育てた人で、本当に苦労したんだと思います。お父さんは一人息子で、お姑さんが頼りにしてましたが、わがままなところもありました。

八百屋問屋は時代の流れのなかで景気が悪くなっていきました。たとえば、ほうれん草を仕入れても、二把ダメになるともう何も残らない状態で、だんだんと赤字が増えていって、そのうちに向かいに大きいスーパーができました。それで、今度は学校給食を始めました。食材を背負って、手にも持って、学校まで届ける仕事を十年間やりました。お父さんが郡部で、私が市内の学校をまわりました。十年目で私が体を壊してしまい、山形で手術をしました。あの時一ヶ月休んだだけ。あとは嫁に来てから三人の子供を産んだ時に二十日位休んだきりで、まったく休んだことなんてありませんでした。

ある時、荘内銀行の支店長さんから「盛篭をつくって」と頼まれました。八百屋でくだもの、缶詰を扱っていたからです。でも、作り方を知らないどころか、見たことも、貰ったこともなくて。品物を重ねていきましたが、セロハンテープなんてないし、パッキンを挟んで、リボンで結んだものを持って行くうちに崩れてしまいました。支店長さんは「向こうに行ってから直すからいいよ」って言ってくれました。これがきっかけで、盛篭が売れるようになりました。

それから、造花を盛篭に入れるために、山形の花屋さんから花と篭を仕入れて、作り方を教えて欲しいとお願いしたところ、「教えることは出来ないが、見て覚えて」と言われました。あの頃、近鉄という運送屋さんがあって、新庄から山形支社まで行くトラックに往復乗せてもらいました。赤ちゃん（現在の社長）をおんぶしていったら、花屋さんにダメだと言われてしまい、お姑さんも赤ちゃんを見られなかったので、仕方なく諦めました。運転手さんたちには本当に面倒をみてもらって、あの時の運転手さんの孫さんがいまうちで働いてくれています。ご縁だと思っています。その後は尾花沢の葬儀屋さんに教えてもらったり、金運は夜汽車に乗って、東京の御徒町に仕入れにいったりもしました。

体を壊してからは、仏具を扱うようになりました。

昭和 30 年代の八百屋時代

最初に配布したチラシ

各集落に代表と言われる男の人たちがいて、昼食事に店に来てくれると、簡単な食事を出したりしているうちにいろいろな話をしてくれました。あの頃は、花、盛篭、お棺などと売る店が分散していたのですが、お客さんからあれもこれも扱ったらいいと教えられ、それから店にお客が来店してくれるようになってきました。いい時代でね、人情味あふれていました。また、仏壇を扱うようになった頃は、八百屋あがりで知識も資本金もなく、本当に苦労しました。

そうやって独学で勉強したり、人に教えてもらいながら業種を切り替えて商売を続けてきました。仕事・家庭の両立が大変で14回半も家を出たことがありましたが、子供がかわいそうでいつも、泣く泣く戻ってきました。本当に苦労したことしか覚えていませんが、私は人に恵まれて、お客さんや友人に助けられてここまで来ました。葬儀屋をやるようになったのも、お客様から望まれてです。苦労はしても、おじいちゃんと頑張ってきて良かったと、今では思っています。四代目で息子が社長になって、私を支えてくれた地域のみなさんにご恩返ししていけるようになりました。私は専務がお嫁に来てくれてから、本当に楽しくて幸せになりました。

「苦あれば楽あるものだ」とつくづく思っています。

episode

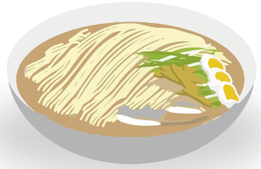
沼沢家エピソード（沼沢正則 談）

一、一杯のラーメン

うちの斜め向かいに食堂があったんですね。子供だからラーメンが食べたくて、毎日「食べたい、食べたい」って母を困らせたものです。

母は「そのうち食べさせてあげるから」と言い、ある夜、仕事が終わり暗くなってから、私と姉が連れて行ってもらってラーメンを食べたんです。母に「食べないの？」って聞くと、母は「お腹いっぱいだって」食べないんです。今考えるとお金がないから、自分は食べないんですね。そうやって私たちは育ってきました。「一杯のかけそば」ってありましたが、一杯のラーメンは実話です。

貧しい生活は、恥ではありません。むしろそのような経験があったからこそ、現在があると思います。そして人のいたみが分かるようになりました。

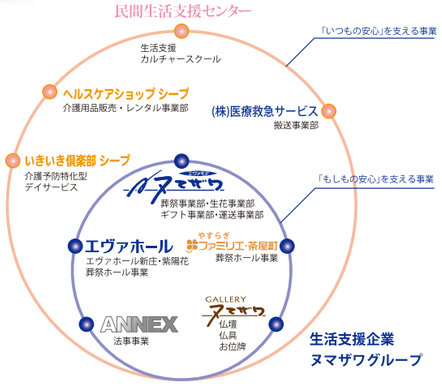


二、季節はずれの海水浴

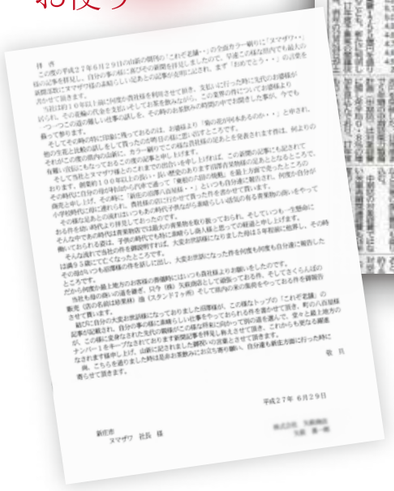
海をバックにして、両親と写っている写真があります。それは、湯野浜にスイカを仕入れに行った帰りに、海の前で撮った写真なんです。夏の海辺なのにだれもいません。シーズンがはずれています。家族みんなで海水浴なんて行ったことがないですから。あの頃、商売優先で商店の子供達は家族と一緒に海水浴には行けない時代でした。

会社沿革

明治28年6月	新庄市　馬喰町に青果物商店
昭和29年2月	沼沢商店を起こす
平成元年6月	有限会社　沼沢商店に法人変更
	株式会社
	新庄医療機関救急輸送サービス設立（現株式会社医療救急サービス）
平成2年7月	介護用品専門店　ヘルスケアショップシープ開設
平成5年6月	有限会社沼沢商店から株式会社ヌマザワに組織変更
平成8年12月	エヴァホール紫陽花　オープン
平成14年12月	エヴァホール新庄　オープン
平成16年8月	エヴァアネックス　オープン
平成20年12月	やすらぎファミリエ茶屋町　オープン
平成23年11月	民間生活支援センター開設
平成23年12月	おぶつだんギャラリーヌマザワ　オープン
平成24年10月	短時間デイサービス
	いきいき倶楽部シープ　オープン
平成26年6月	ビューイングルームすみれ　オープン
	葬想空間アテュー紫陽花　オープン
平成27年6月	終活コーナー開設。
平成27年8月現在	



励ましのお便り



山形新聞平成27年6月29日朝刊 に掲載された記事に、以前、沼沢商店と関わりのあったお客様から、掲載日付けのお手紙をいただきました。
ご苦労されて今があること。私どもの知らない歴史、家業を継いで現在にいたる経過をご丁寧に書いてくださり、掲載されたお祝いの言葉まで寄せていただきました。
また、各方面からも励ましのお電話、お声をいただき、ありがとうございました。

Quality in 120
message

先代の遺徳を受け継ぎ、事業とメセナ活動を通して「地域に必要とされる企業」であり続けます

メセナ活動(mécénat)とは
企業が資金を提供して文化、芸術活動を支援すること。ヌマザワでは、今後も地域の皆様に文化、芸術、音楽を提供していきます。

the chief executive officer　沼沢　正則

「やさしさ、人…心」はヌマザワの企業理念です。やさしさをもって人に接し、日本の伝統である美と心を伝える誠実な企業を目指します。

企業三十年説ともいわれる中で、百二十年もの長きに渡り、この新庄で商いを続けてこられたのは、先代の苦労とその時々に支えてくださった地域の皆さまのおかげです。心より御礼申し上げます。

幼少の頃より、母の苦労、父の背中を見てまいりました。私が事業継承後に有限会社沼沢商店から株式会社ヌマザワに組織変更した後は、お客様と時代のニーズに合わせ、多角的に事業を展開してまいりました。常に心にあるのは、地域の皆さまにご恩返しをしていかなければとの想いです。

葬祭業を主たる事業とし、ご葬儀後のアフターサービスとしての仏壇、法事事業。また、株式会社医療救急サービスという関連会社では高齢者を対象とした事業を行っております。地域密着型総合福祉サービス業を目標としてきました。葬祭業は「究極のサービス業」と心得、お客様に対応をさせていただくスタッフの人材育成にも力を入れております。現在ヌマザワには、厚生労働省認定葬祭ディレクターの有資格者が十二名おり、お客様からの安心と信頼のご支持をいただいております。

また、これまでも震災孤児支援コンサートほか、地域の皆さまに芸術、文化、音楽に接していただける機会を提供してまいりました。今後もメセナ活動として企画してまいります。十月には、「創業百二十周年記念　姜暁艶(ジャン・ショウイエン)二胡コンサート」が決定しております。哀愁漂う二胡の音色をご堪能いただければ幸いです。

ヌマザワグループは、これからも、いのちの大切さと儀礼文化を守り、伝えながら、それぞれの事業分野で最高のサービスとメセナ活動で地域社会に貢献してまいります。これからもご支援いただきますよう、お願い申し上げます。

ヌマザワグループ代表取締役社長
沼沢　正則

Quality in 120
message

次の 100 年に向けて持続可能なサービスのため過去のご恩返しと未来への投資のための基盤づくり

a managing director　沼澤 紘一

おかげさまで百二十年という、とても長きに渡る経営をこの地域でさせていただけたのは、当社の努力だけでは続けられなかったと思っています。現在のヌマザワの基礎を築いた、祖父母の代、そこから多角的に展開をしてきた社長の代と、先人と社員の努力があって、今がありますが、やはり、そこには、当社をご利用いただく地域の方々のご理解がとても大きかったと思っております。

私は、幼少の頃より当社を継いでいくものとの思いがありました。小学生から大学生になるまで、学校の長期の休みには、アルバイトとして、社員と共に汗水を流すことで、少しずつ苦労や喜びを、そして、仕事の達成感も味わってきました。ですから、大学卒業後、研修を終えてヌマザワに入社した際には、社員もお客様も受け入れてくださったのではないかと思っております。また、研修先であり最初の社会経験が、日本でも優良の葬祭業社である仙台の清月記さんで、新卒の真っさらな状態の中で、一から葬祭業の教育をしっかり叩き込んでいただけたことが、現在の私の基礎になっています。

今後も永続的に会社を存続させていくことが、結果的にお客様への最大のサービスであり、ご恩返しでもあると思っております。これまでも、当社ではメセナ活動として、地域の皆さまに貢献できる企業としてコンサート等の事業を行っておりますが、やはり、地域が活性化していかなければと思っております。地域の活性化のため、たとえば、今後は街づくり等も含め、多くの場で顔を覚えていただくことで、さらなる信頼関係が生まれるものと思っております。

私の役割と致しましては、過去と未来をつなぐ現在、過去のご恩返しと未来への投資のための基盤づくりであり、しっかりと地盤を築き、これから先の十年、五十年、百年と地域の皆さまのため、地域の皆さまと共にあるヌマザワであり続ける所存であります。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

ヌマザワグループ　常務取締役
沼澤　紘一

Quality in 120 message

ご先祖様の築いた土台があってこそ現在がある 初心を忘れず、これからもずっと続いていけるように

managing director.　沼沢　美代子

厚生労働省認定　2級葬祭ディレクター
全葬連葬儀事前相談員資格

ヌマザワの百二十年の歴史のなかで、代々女性が支え、守ってきました。二代目のまさ、三代目の美沙子、そして、定年まで勤め上げ、退職された女性社員の皆さんの存在がありました。家業から企業へ。現在のヌマザワを影で支えているのは、会社では専務であり、家庭では妻であり、母でもある沼沢美代子です。会社、社員への想いを綴ります。

地域の皆さまにご愛顧いただいて、ここまで来られたのは、ご先祖様がいろいろな土台を築き上げてくださったからです。また、男女共に長年勤めてくださった元社員のみなさまのおかげです。感謝申しあげます。

お客様が求めておられることに、すぐに対応してきた積み重ねが信用になり、今があります。ですから、常に初心を忘れないことです。私の実家も商売をしておりましたので、幼い頃から両親の姿、商いというものを見てきました。その頃から私の基本になっているのは、相手の立場、つまり、お客様の側になって考えるということです。

現在は、ヌマザワの専務という立場にあり、社長とは違う役割を担っています。会社では経理業務全般とヌマザワの柱となる葬祭業においては、葬祭ディレクター、事前相談員の資格も取得して接客にあたっております。また、生花全般も担当し、お盆、お正月と生花の販売もすべて社員といっしょになって行っております。私がいっしょに働いてきたことにより、社員もついてきてくれ、社員の気持ちもわかるし、また、経営という立場からは社長の想いもわかります。社長が表に出ていれば、私は影で支え、守っていきます。基本的に裏方の方が性に合っています。葬祭業は24時間、いつも気がぬけない仕事です。会社、社員、家庭、家族を守り、お客様に愛される企業として、次の世代へもずっと続いていくことが、一番の想いです。これからも宜しくお願い申し上げます。

ヌマザワグループ　専務取締役　沼沢　美代子

葬祭業は失敗が許されない「究極のサービス業」です。信頼の証でもある、十二名の有資格者の中から代表して、それぞれの想いを伝えます。

初心を忘れず、変わらないことも大切

佐藤　志保
厚生労働省認定２級葬祭ディレクター
全葬連葬儀事前相談員資格
日本グリーフケア協会認定　グリーフケア２級

絶対にミスをしないように、何度も確認することに常々気を配っています。十年かかって、ようやく仕事の一から十までわかり、事前相談も受けられるようになりました。事前相談をなさったお客様が最後の時を迎えられ、ご葬儀では私が司会をさせていただきました。最後にご遺族から「ありがとうございました」とおっしゃっていただけることが何よりです。ずっと関わらせていただけたことに感謝しています。これからも、初心を忘れずに、現場の大切さを実感しながら、知識を増やし、仕事に精通していきます。

百二十年の看板に恥じない信頼を

栗田登喜子
厚生労働省認定１級葬祭ディレクター
全葬連葬儀事前相談員資格
ホームヘルパー２級

終活、事前相談にみえられるお客様はヌマザワに安心と信頼を求めていらっしゃいます。専門知識で誠実に応対することで、お客様が帰られる時には、不安を取り除き、安心していただけるように努めています。葬祭業は間違いが絶対許されないことなので、慎重にお客様の立場になって、お客様に寄り添いお話を伺い、その想いに添えるようにしています。やはり、一生懸命対応したことがお客様に感謝された時には、この仕事について良かったと思います。これからも百二十年の老舗の看板に恥じないように、地元の皆さまからの信頼に応えて努めていきます。

信頼は当たり前。常に緊張感を持って

高橋　義幸
厚生労働省認定１級葬祭ディレクター

葬儀という仕事は、もう一回が許されない。それだけに、お客様から「ありがとう」と言っていただけた時に一番やりがいを感じます。ご葬家にはじめて訪問する時がいつになっても緊張します。その緊張感は大切だと思っています。いろいろなケースがありますので、ご遺族の気持ちを気遣うことを第一にしています。お客様から信用、信頼されるのは当たり前。「前回、高橋さんだから、今度もお願いしたい」とご指名いただけることに感謝しています。

満足がスタートライン、その上を目指す

お客様第一で物事を考えています。以前、ご葬家に伺った時に小さいお子さんがいて、ご両親が席を外した時に相手をしていました。違う場所でお会いした時に「あの時は遊んでもらって本当にありがとうございました」と言われました。次にそのお宅でご葬儀があった時に「あれが印象的だったからもう一回井上さんに頼みたい」とご指名いただいた時は、うれしかったですし、保育士の資格も役立ちました。大満足が当たり前の仕事。そこからさらに上を目指し、「この人じゃなければ」と言われたいです。

井上　直人
厚生労働省認定２級葬祭ディレクター
保育士、幼稚園教諭

北海道在住のご家族様から感謝の言葉と綺麗なお花畑の写真をいただいた

安食　信一
厚生労働省認定１級葬祭ディレクター

「慣れ」を廃して、当たり前のことを当たり前に、そして、ご葬家様に確実に提案していくように心がけています。急にご葬儀が重なったりして、心身共に疲れ果ててしまった時など、お客様が心を開いてお話くださり、「ありがとう」の言葉をいただけるのが一番の励みです。ある先生から「ご葬家の身になるというのは立場ではないからできない。いかに近づけるかしかない」と伺い、喪主様、ご家族様に寄り添って、いくらでも距離を近づけるように心がけています。

ホテルマンから葬祭業へ「ありがとう」の充実感が違う

斉藤　文生
厚生労働省認定２級葬祭ディレクター

失敗が許されない仕事なので、毎回、新たな気持ちで緊張感を持って従事しています。前職はホテルの仕事で、どちらかというと華やかな表の仕事。ご葬儀は影で支える裏方の仕事ですが、お客様からの「ありがとう」の言葉をいただいた時の充実感、達成感というか、ありがとうの深みが違うと思います。自分の立ち位置として、前に出過ぎず、後ろに下がり過ぎずを心がけています。特にお若い方のご葬儀は、ご家族の感情も強いので、一層気を使います。

全てはお客様からの「ありがとう」のために。感動のご葬儀を

ご葬家のご家族がどのようなご意向を持っておられるか、それを踏まえて、お客様のご希望に添った形でご葬儀をお手伝いさせていただきます。ご葬儀が終わった後の「ありがとうございました」の一言をお客様からいただいただけで、それまでの苦労も疲れも一気になくなります。時にはお叱りを受けることもあります。それら全てを糧にして業務にあたっています。お客様に感動していただけるご葬儀になるようにというのが常々の目標です。

柴田　雄司
厚生労働省認定１級葬祭ディレクター
２級建築施工管理技士．

Quality in 120 message

この仕事に携わるものなら、
みんな同じ想い。
お客様からの「ありがとう」が全てです。
でも、他の業種とは、一つ一つの
「ありがとう」の想い、重みが違うと
思っています。

地域のみなさまに、ささえられて

寄せられた言葉は
わたしたちにとって
かけがえのない
「タカラ」です。

ヌマザワではお客様にご葬儀後のアンケートをお願いしています。裏側の「ご葬儀に際しましての、ご葬家様の自由な声をお聞かせください」との項目には、皆様からご丁寧にたくさんの声を書いていただいております。心より御礼を申し上げます。

すべての声を真摯に受け止め、今後の業務に反映させてまいります。ほんの一部ではありますが、最近のものをご紹介させていただきます。

突然の父の逝去、喪主が遠方在住、すぐに菩提寺が決定できない等。特殊な事情にもかかわらず、特段のご配慮を賜り、家族一同、心より感謝申し上げます。お陰様にて、父も身内に見守られながら安らかに旅立つことができました。御社の手篤い御対応に只々感動致しております。

S様

厳しい介護、看取りの時間を過ごし、疲れていたところでの葬儀でした。亡くなった母のことを大切に想ってくださり、残された私には幾度も体調を崩さないようにと、声をかけてくださいました。96歳とはいえ、母親を見送る娘の悲しみに社員の方々が静かにそっと寄り添っていただいたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

O様

社員教育がとてもしっかりしており故人に対する対応に只々感謝の気持ちでいっぱいです。ほんとうにありがとうございました。

T様

当家はお寺との付き合いがないため、どのお寺に供養を頼めばよいのか困っていた。また、葬儀の段取りや順番についても知識が乏しかったので、担当者のていねいな説明はありがたかった。遺影の仕上がりと、告別式の時に写し出された写真の投影はよかった。

T様

皆さまの暖かいお言葉が、私たちの活力になり、何よりの宝物です。ありがとうございました。

「これから必要なこと」を終活サロンとテレビコマーシャルで

この先、地域にとって
何が必要かを
わたしたちは考え
ご提案いたします。

「終活」サロン
おぶつだんギャラリー ヌマザワ 2階

終活や事前相談というものが当たり前になりつつあります。そこで、皆様のさまざまな不安や声、「子どもや家族にできるだけ迷惑をかけたくない」「自分のことは自分で決めておきたい」「息子や娘は遠くにいて、なかなか帰ってこれない」など。いざという時の財産の管理、医療・介護、相続・後見人葬儀、やお葬儀後の仏壇、お墓の準備に至るまで。また、定年退職後の暮らし方など、終活に関するあらゆるご相談を承ります。

ゆったりとした空間で、専門の資格を持った事前相談員がお話を伺います。守秘義務は徹底しておりますので、ご安心してお問合せください。

どなたにでも分かりやすく
大切さと想いを
お伝えします。

ヌマザワ テレビCM
“息子”篇 30秒
近日オンエアー

ヌマザワの今度のテレビCMは、日頃、葬儀というものをあまり身近に思っていない若い方々にも、葬儀を通じて家族の絆、大切なものを感じていただけたらとの想いから、親しみやすいアニメで制作しました。

CMは、お葬式が終わり自宅に戻ってきた一家。父親を亡くした息子の独り言からはじまります。いろいろなことがあっても、家族は深い絆で結ばれています。お客様に「いいお葬式だったね」の言葉をいただくこと。それは、ヌマザワの社員がいつも心においていることです。

やすらぎのJA葬祭

※やすらぎホールは組合員様以外のご利用もいただけます。

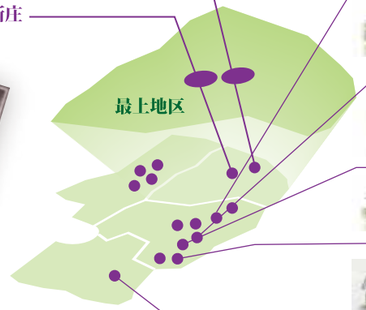
やすらぎ東根村山ホール

やすらぎ天童ホール

やすらぎ嶋ホール

やすらぎ山形ホール

やすらぎおきたま米沢ホール



JA様の「やすらぎ」ブランドに支えられ地域に安心と信頼を提供

ヌマザワの百二十年の歴史の中で、JA葬祭との提携は欠かせない大きな存在です。最上、新庄のJA様が主体となって、JAエヴァモア倶楽部を形成し、ヌマザワでサービスを提供させていただいております。共に歩んできた歴史と、これからも互いにより良いビジネスパートナーとして提携、展開させていただきたいとの想いから、㈱全農ライフサポート山形様にお話を伺いました。

株式会社全農ライフサポート山形とは―

平成十九年四月に、㈱くみあい総合食品流通センター・山形くみあい運輸㈱・㈱パールライス山形の三社合併により、㈱全農ライフサポート山形として生まれ変わりました。全国のJAネットワークを通じたさまざまなサービスで、皆さまの生活を総合的にサポートしています。葬祭については、セレモニー部が統括しています。

葬祭はいつごろから始まった事業ですか―

「やすらぎ」となったのは、ここ十数年です。以前から農協関係で葬儀があれば、香典返しのお茶を各農協さんを通して、当社で納めていたのが葬祭との関わりはじめです。それが今度、「やすらぎ」という全国的な組織で、葬祭ホールの展開も行っているところです。時代の流れで、お客様からのホールの需要が増えてきました。山形県内で当社の直営が山形、嶋、天童、東根村山、おきたま米沢の5ホールです。ヌマザワさんの新庄・最上地区にやすらぎファミリエ・茶屋町とエヴァホール新庄、他に提携している4ホールで内陸では合計11ホールがJA葬祭のホールとして、ご利用いただいております。

セレモニー 部
部長 山口茂雄さん

葬儀は究極のサービス業ですが―

全農は地域密着のサービスを展開していますので、統括のセレモニー部としても、各地区のJA担当者の勉強会を開催したり、葬祭ディレクターの資格取得も推進しています。いま、セレモニー部のスタッフは、パート、アルバイトも含めて60人ほどですが、そのうち葬祭ディレクターの一級、二級合わせて、資格を持つものが23人おります。年間、お寺の葬儀も含めますと850件位の葬儀を行っておりますので、究極のサービス業としてお客様に安心していただけるよう努めています。葬儀後のアンケートも全体的に評判はいいようです。

新庄でのヌマザワとの関わりについて―

昭和四十年代頃は、前身のくみあい食品センターの時に、やはり香典返しのお茶の供給だけだったのですが、組合員さんからの要望があって、昭和五十年位からは、祭壇の貸し出し、棺等を農協で扱うようになって、新庄、最上地区でも葬祭事業を確立していきました。ヌマザワさんとはその頃から四十年以上のお付き合いだと思います。それから、世の中の流れで、ホールがないと葬祭事業が成り立たないようになってきて、ヌマザワさんで、JAの系統の位置付けとして「やすらぎ」をつけて、やすらぎファミリエ・茶屋町とエヴァホール新庄の二箇所をJAとの提携で展開していただいています。

セレモニー 部 課長 小沢 実さん

ヌマザワとしては―

ヌマザワは、山川さんが新庄・最上地区の歴史をよくご存じで、ずっと担当していただいてきました。JAさんとの長い関わりの中で、「やすらぎ」というJAブランドを使わせていただいています。ヌマザワのご葬儀の半分近くがJAさんの仕事ですから、「やすらぎ」ブランドの存在は大きいものです。JAさんの築いてきた安心と信頼のブランドに、ヌマザワが地域で長年つちかってきた、やはり安心と信頼がいっしょになるわけですから、お客様に対してはまさに究極のサービスではないかと思っています。

今後もお互い、より良きパートナーとしての関係を構築させていただければとお願い申し上げます。

セレモニー 部 元部長 山川雄二さん

最後に一言ずつお願いします。

山口部長様―

葬儀もホールがあちこちに出来てきて、競争が激しくなってきていますが、いかに真心を込めたサービスができるかで、お客様もついてきてくれると思っています。JAのバックボーンを活かしながら、担当スタッフの教育にも力を注いでいきます。

小沢課長様―

多様化するお客様のニーズにいかに対応していくかだと思います。そこが難しさでもあり、ある意味、喜びでもあります。葬儀は物ではなく、心のサービスですから。

山川元部長様―

昭和四十九年に入社しましたが、その当時からずっと新庄・最上地区の葬祭に関わってきました。ヌマザワさんがJAに対して協力していただいたので、今後もホール活用も含め、多くの面で共に発展していければと思います。

ありがとうございました。

冠婚葬祭

互助会って解約できるの？

冠婚葬祭互助会の解約トラブルにご注意

ヌマザワにお問い合わせしてくださるお客様で「営業マンがいいことばかりの言うので、冠婚葬祭互助会に入ったが解約はできないのか?」と相談されるお客様が増えています。互助会にもそれなりのメリットがありますが、実際、ご葬儀をなさったお客様から、追加料金を多く取られた等の苦情があるのも事実です。また、解約を申し込んだところ、「不当に多額の手数料を請求された」との声もよく聞かれます。実際、山形県でも解約のトラブルが多く発生しているため、山形市の公式ホームページの「暮らし・手続き」欄には、２０１５年４月14日付で注意勧告が出ています。マスコミやメディアでも取り上げられています。互助会でお困りなことがありましたら、いつでもご相談ください。

ただし、すべての互助会がこのようなトラブルを抱えているわけではありません。しっかりとお客様をサポートしている互助会もあります。これは一つの例をあげました。

誌上セミナー No,2

葬儀会社の定める「お葬式基本セット」に何が含まれているかあらかじめチェックシートで確認してみてください。

霊柩車
火葬場までの霊柩車のお車代は含まれていますか？
はい　いいえ
霊柩車の車種によっては別途費用がかかる場合があります。さらに、距離に応じても金額が変わる場合があります。

寝台車
病院からの故人様のお迎えのお車代は含まれていますか？
はい　いいえ
寝台車と霊柩車は意味合いが異なります。場合によっては別料金が発生する場合があります。

遺影写真
祭壇に飾る故人の遺影写真は含まれていますか？
はい　いいえ
白黒の遺影写真は基本セットに含まれていても、カラー写真にすると別途料金になる場合があります。

会葬者用バス
火葬場やホールに移動するバス代金は含まれていますか？
はい　いいえ
火葬場やホールまで、ご親族やご近所の方の送迎用のバスを手配すると出棺バス、ご近所様用バスとして請求される場合があります。

献茶サービス
火葬場での献茶はサービスとして含まれていますか？
はい　いいえ
火葬場でお待ちいただいている間、喪家になり代わり会葬者のおもてなし料やお茶代として請求される場合があります。

ドライアイス
ドライアイスの料金は含まれていますか？
はい　いいえ
会葬の時期によってはドライアイスの使用量が変わる場合があります。何kgまでは含まれるのか、最初から別途料金か確認しましょう。

納棺花
納棺花は含まれていますか？
はい　いいえ
旅仕度をした故人は、花に囲まれて納棺されますが納棺花が別途請求される場合があります。

貸出備品
お葬式に必要な貸出備品は含まれていますか？
はい　いいえ
貸出備品（座卓テーブル・座布団・グラス・皿・ストーブ・テント・イス等）はセットに含まれていますか？

ご葬儀にかかる費用には、「お葬式基本セット」「返礼品」「お料理」「その他」があります。チラシやホームページ等に記載されているご葬儀料金は、「お葬式基本セット」のみの場合が多いので、セットに含まれているものを今からチェック、確認しておきましょう。

ご相談
○○会の会員になっているのに積立金だけでお葬式ができないってどういうこと？

ご存じですか？
「お葬式」のこと
後で後悔
しないために

ご安心ください。ヌマザワの「お葬式基本セット」には、左記チェックシートの項目が全てが含まれています。
（但し、単品プラン、福祉葬プランには含まれていない項目もございます）

株式会社 ヌマザワ　Qualification
■厚生労働省認定・葬祭ディレクター有資格事業所
1級葬祭ディレクター　有資格者 10 名在籍
2級葬祭ディレクター　有資格者 5 名在籍
■経済産業大臣認可　全日本葬祭業協同組合連合会認定
■全葬連葬儀事前相談員　有資格者 /5 名在籍
平成27年8月現在

「シルクロード」

ノスタルジックな二胡とピアノの音色
会場は一体となり、暖かさに包まれる

平成二十七年三月十日。あの大震災の日のように、外は雪と強風のあいにくの空模様でした。そんな中、満席で始まった「第６回　震災孤児支援コンサート」。今回は、ジャン・ショウイェンさんの二胡コンサートを開催しました。幻想的な照明とノスタルジックな二胡とピアノの演奏。

日本の唱歌「ふるさと」、ＮＨＫの「シルクロード」、情熱大陸のテーマ「エトピリカ」、復興支援ソング「花は咲く」。そして、ジャンさんオリジナル曲「ボレロヒロシマ」等、バラエティ豊かな選曲でしっとりと酔いしれました。事前にリクエストしていた「神田川」では、切なさで胸が締めつけられるようでした。また、ジャンさんの男女の声を使い分けた歌に笑ったり、一曲ごとに楽しいおしゃべりがあったりと、あっという間に時間が過ぎていきました。会場はお客様と一体となり、暖かい雰囲気に包まれていました。

コンサート終了後は、ジャンさんのＣＤの販売もあり、購入いただいたお客様お一人お一人にサインと見つめあっての握手。ジャンさんの人柄にも触れられ、ファンになった方も多かったようです。

大好評のうちに終えたコンサート。寒空の下、お帰りになる皆さんでしたが、心はホッと暖かく家路につかれたようです。

皆さんの多くのリクエストで今秋、再び、ジャン・ショウイェンさんの二胡コンサートを開催します。

特定非営利活動法人
JETO みやぎ
千葉　和徳さん

東日本大震災　孤児の支援活動も第四期目となりました。当初、一番小さい三歳の子を含め、87名の支援活動が今期は65名となります。ＪＥＴＯみやぎでは全員が二十歳で卒業するまで支援を続けていきます。今後も子供達と保護者とのコミュニケーションを大切に、皆様からの暖かいご支援は子供達の未来のために役立てまいります。ありがとうございました。

interview

広島と新庄　遠いのに不思議なご縁を感じる

あの3月11日の前に岩手でコンサートがあり、広島に帰って一週間で大震災がありました。あの日、16日に新潟で開催するコンサートの打合せ中、テレビには映画みたいな津波が。ニュースだと気づいて驚き、すぐに新潟の主催者に電話したら、「大変な時ですが、皆さんが元気になるように来てください」と言われました。正直に言えば、東北方面に行くのが怖くて、中国の母に電話しました。母の「あなたは日本で沢山の恩をいただいて、その恩を返すチャンスですよ」との一言に行くことにしました。あの時日本人の、被災しても落着いて、お互い助け合う姿にとても感動して、もっと日本が好きになりました。私は、二胡奏者として広島での平和のための活動や医者として予防医学を行っています。仙台の知人に、コンサートを開けないかと話していた矢先に、ヌマザワさんからコンサート問合せの電話がありました。私は、事前にヌマザワさんの支援活動を知り、今日はワクワクして新庄に来ました。また、リクエストいただいた曲がシルクロードで、これは私のテーマ曲であり大切な曲。いろんなご縁を感じました。

コンサートを終えて　姜 暁艶さん

今日は吹雪で、風も強くて、こんな寒い日に会場満席のお客さんが来てくださり、驚きと感謝でいっぱいです。幻想的な会場の雰囲気の中で、新庄の皆さんの暖かい心が伝わって来て、とても感動しました。新庄が大好きになりました。スタッフの頑張りと沼沢社長に日本人の心を感じました。私にとっては忘れられないコンサートとなり、本当に感謝です。震災孤児の皆さんのお役に立てたら幸せです。

piano　コンサートを終えて

ピアノ／折重由美子さん

初めての山形、新庄でのコンサート。ジャンさんと15年前に出会ってからいっしょに音楽を通じての平和や多くの支援コンサート活動をしています。今日は、お客さんの高まる雰囲気とジャンさんの音を感じながら演奏させていただきました。
一生懸命聴いてくださって感動しました。